



人と機械の融和を導く産業界のリーダー オムロン株式会社 諏訪正樹氏が登壇 ロボティクスを支えるセンシング技術を学ぶ特別講義を開催

日時：2026年6月16日(火) 10:55-12:35

場所：京都橋大学 アカデミックリンクス H401教室

対象：工学部 ロボティクス学科 学生（1回生）

京都橋大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）では、6月16日(火)、本学客員教授でオムロン株式会社 執行役員 ストラテジックR&D本部長 兼 オムロン サイニックエックス株式会社 代表取締役社長の諏訪正樹氏による特別講義を、工学部ロボティクス学科の必修科目「ロボティクス概論」（配当回生：1回生、担当教員：松原 仁教授）にて実施します。

ロボティクス概論は、ロボットを構成する機械・制御・情報技術を横断的に捉え、現代社会におけるロボティクスの役割や領域を理解することを目的とした科目です。ロボットの基本構造や知覚・行動・意思決定の仕組みを理解し、人とロボットが共生するための関係性や、ロボットをどのように社会へ実装し役立てていくかについて学びます。

今回の講義では、機械が社会の中に深く融け込み、人の可能性や創造性を高め能力が拡張される関係性「人と機械の融和」を目指し、様々なプロジェクトを推進されてきた諏訪氏が登壇します。講義では、ロボットの五感としてだけでなく、IoT社会、AI時代のキーデバイスとして今後ますます重要性が高まる「センシング技術」について講演いただきます。講義を通じて、社会を豊かにし、人に寄り添うロボットを実現する技術について理解を深め、人間と共に暮らす次世代のロボットについて考える機会にしたいと考えています。

本学では、第一線で活躍する研究者や実務家による講義を通じて、学生が最先端の知見と現実社会との結びつきを学ぶ機会を提供していきます。

【特別講義 開催概要】

開催日：2026年6月16日(火) 10:55-12:35

場所：京都橋大学 アカデミックリンクス H401教室

登壇者：諏訪正樹氏（2026年度京都橋大学客員教授／

オムロン株式会社 執行役員 ストラテジックR&D本部長 兼

オムロン サイニックエックス株式会社 代表取締役社長）

【登壇者プロフィール】

- 諏訪 正樹（すわ・まさき）氏
博士（工学）。1968年、京都府生まれ。
オムロン株式会社 執行役員 ストラテジックR&D本部長 兼
オムロン サイニックエックス株式会社 代表取締役社長

- 専門：画像・光センシング

●研究概要

オムロン株式会社にて画像・光センシングを専門領域とし、これまで信号処理や機械学習のアルゴリズム、3D画像計測の計測原理や計測アルゴリズムの研究開発に従事。同社のコア技術「Sensing & Control + Think」と「AI/データマネジメント技術」により、AIの力に機械の身体性や五感をプラスして、今までにないものを生み出す研究開発を牽引する。卓球ロボット「FORPHEUS（フォルフェウス）」はそうした研究開発の代表事例で、機械が人の能力を引き出す「人と機械の融和」を体現している。



- 取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橋大学広報課 担当：立木、前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp